

ロゴマークの提案

2022年1月7日(金)

【ロゴマークのコンセプト】

「絶えまざる創造」 + 「こころをカタチに」

【提案理由（なぜB to Cのロゴが必要なのか）】

もともと ISB のロゴマークはありますが、それは B to B の製品にしか使われていませんでした。B to C のチラシを見てもロゴマークのようなものは見当たりませんでした。

そこで、B to C の製品がもっと親しみやすく、みんなに知ってもらえたらいいなと思い、一般消費者向け製品専用につけることができるようなロゴマークを考えました。

【ロゴマークの意味】

≪ロゴマークの名前の意味≫

Iguchi Strong Bearing になぞらえて ISB	
Iguchi	
Smile, Seeds	(笑顔、種)
Blooming	(花が咲く)
⇒ 「 笑顔を咲かせる製品 」	

(株) 井口機工製作所の一般消費者向けの製品を見たときに、人に寄り添って、あったらいいなと思えて、人の笑顔をつくりだせるような商品が多いと感じました。また、ユニークなネーミングの製品が多く、人を笑わせて笑顔にさせているとも思いました。

そのため、SはSmile, Seeds、BはBloomingと表現し、笑顔を咲かせる製品(笑顔の種)という意味を持たせました。

≪形に込めた意味≫

① ISBと書かれているところは「種」と「こころ」を表現しました。

“笑顔の「花」を咲かせる製品”の根源にあり、「種」となっているものは、(株) 井口機工製作所の方々が人を想う「こころ」であると思えました。

そのため、「種」はハート型にして、私たちが考えた「ココロをカタチに」というコンセプトに沿った「こころ」を表現する形にしました。人を想う「こころ」を「カタチ」にできる会社ということを表現したいと思い、このようなデザインにしました。そして「種」からは人々の「笑顔の花」が咲いているようにしました。



② 花の中心部分は「笑顔」になっています。

花はガーベラがモチーフになっています。ガーベラの花言葉には「親しみやすい・希望・光に満ちた」という意味があり、(株)井口機工製作所の雰囲気を表しています。



そして、オレンジ色のガーベラの花言葉である「辛抱強さ」には、粘り強い営業を行う(株)井口機工製作所の方々を表現しました。

③ ハートの種を囲む線は人の「手」を象徴しています。

(株)井口機工製作所は「人」を大切にしている会社であると感じました。人との繋がりや出会いを大切にしていること、そして会社の方の一人一人がお互いを思いやり、周りの「人」を想う気持ちを持っていること。それらを表現するために人の「手」に焦点をあててロゴマークに表しました。



人の「手」に焦点を当てた理由は、(株)井口機工製作所の方々がこの種を0から手で創り出したということ、そして(株)井口機工製作所の「手」で包み込むような優しく温かい雰囲気を表したいと思ったからです。

④ 全体として、「種」は「こころ」と同じで、土の中に隠れていて直接的には目に見えません。しかし、人を想うあたたかい「こころ」が(株)井口機工製作所の根源にあるからこそ、その種が力強く根を張って会社を支えているといえます。



《色に込めた意味》

一般消費者向けの製品にも表れている、(株)井口機工製作所の「あたたかい」雰囲気を出すためにオレンジ色や黄色を使用しました。また、一般消費者向けの製品に向けたロゴマークのため、親しみやすいような色としてオレンジ色や黄色を選びました。他にも、ガーベラの色をオレンジ色にしました。オレンジのガーベラには「辛抱強さ」という花言葉があります。

【ロゴマークに込めた私たちの想い】

「種」は「絶えまざる創造」をテーマにデザインしました。絶えまなく子孫（人を笑顔にする商品）を生み出すということを意味しています。「種」は子孫を残すためにあるので、この想いの「種」が元となって絶えまなく様々な製品が創られ、それによって人の笑顔という花をこれからもたくさん咲かせることができると思い、このような意味をこめました。そして、(株)井口機工製作所という人々を笑顔にする会社が「何年、何十年、何百年先も続くように」という私たちの願いも込めて提案をさせていただきました。